岡崎市内大型店販売動向調査結果〔18店舗〕（平成29年7月分）

対前年同月比０.３％減。一部で下げ止まり感が見られるものの、総じて節約志向が根強い！

岡崎市内の主要スーパー・百貨店１８店舗を対象とした「大型店販売動向調査（平成２９年７月分）」の調査結果がまとまった。それによると販売総額は７１億１５１万円、対前年同月比０．３％減となり、１７ヶ月連続で前年同月を下回った。

部門別の結果をみると、主力の「衣料品」は、１２ヶ月連続のマイナスとなり、２．４％減となった。一方、「食料品」は、６ヶ月連続のマイナスとなり、５．５％減となった。「衣料品」は、気温が高めに推移したことや夏物セールなど、プラス要因があったものの、前年を上回る結果には及ばなかった。「食料品」は、晴天の日が多く、夏物商材の需要の高まりはあったが、相場安の農産品が不調だったことに加え、水産品の買い控えの影響で伸び悩み、前年同月比を下回った。

全国では、スーパーは既存店ベースで前年同月比０．０２％で横ばい、また、百貨店は１．４％減で２ヶ月ぶりのマイナスとなった。大都市部のうち、特に名古屋地区は最も低い４．８％のマイナスとなった。　高価格の付加価値商品が好調で一部で下げ止まり感もみられるが、節約志向が総体的に根強く、大手スーパーの値下げが続くなど、デフレからの脱却は依然として不透明である。

＜調査にご協力いただいた、ご担当者様の“生の声”＞

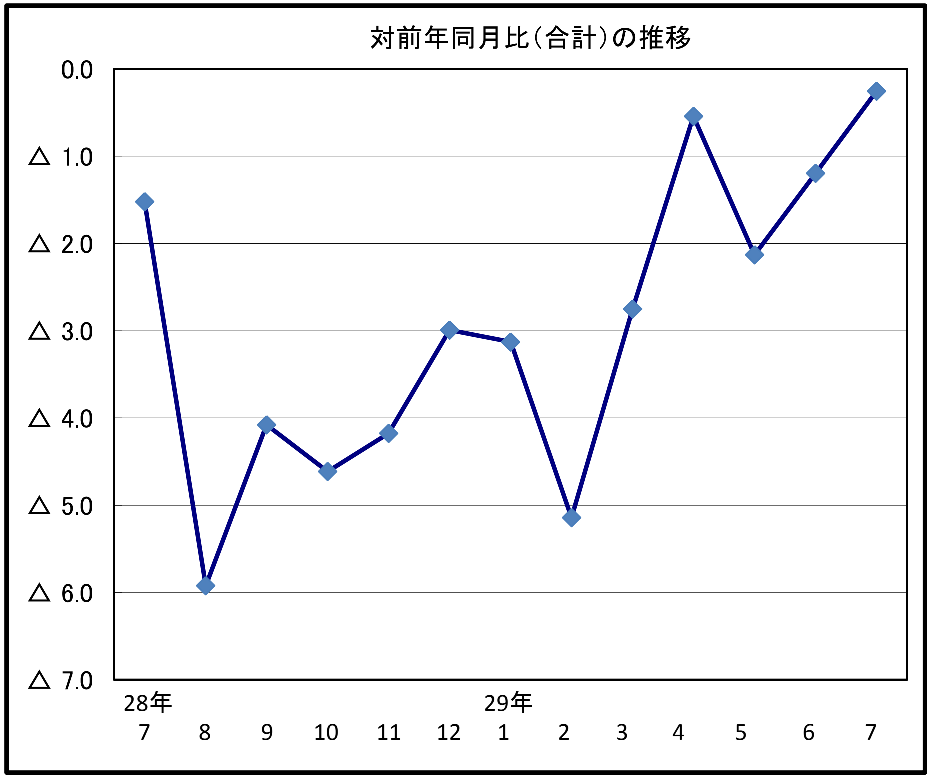
☆青果の相場安もあり、売上の確保が難しかったことに加えて、競合店の影響が大きく、前年を割り込んでしまった。アイス、飲料等の夏物商材に関しては好調だった。

☆バーゲン・クリアランスの開催に加え、夏祭りの買い回り促進、若年層をターゲットにしたイベントなどの集客要因が多数あった。また、娯楽関連も好調。若年層のお客様を購買に繋げる事が課題である。

☆冷房用品などの季節商品はピーク時には、軒並み前年を上回った。一方で、ピークを過ぎた季節商品の販売持続力が乏しく、全体では大きく前年割れした。

☆天候を考慮すると、8月後半からの端境期は、早期の秋・冬商品展開より企画売上向上への注力が重要。

☆消費者の財布の紐の堅さを実感。安い物、必要な物しか買わない。中途半端な商売をすると更に痛手を負う。しっかりとターゲットを絞っていきたい。



	衣料品		身の回り品		家庭用品		雑貨		食料品		飲食・サービス		その他		合計	
	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比
平成28年　7月	163,406	0.1	66,444	2.3	39,073	1.8	63,528	5.0	291,871	0.8	65,101	△ 10.0	22,543	△ 33.7	711,966	△ 1.5
8月	127,053	△ 8.4	56,952	△ 4.9	37,108	△ 5.4	62,857	△ 2.7	306,779	△ 1.1	67,918	△ 12.6	27,295	△ 29.6	685,962	△ 5.9
9月	123,764	△ 11.7	48,990	△ 8.9	29,205	2.5	53,187	△ 5.0	299,719	3.9	56,143	△ 16.8	25,187	△ 12.7	636,195	△ 4.1
10月	157,322	△ 5.1	51,892	△ 0.5	30,377	△ 3.6	57,293	△ 1.3	279,614	△ 2.8	57,893	△ 4.7	20,707	△ 33.0	655,098	△ 4.6
11月	167,797	△ 0.8	56,150	△ 4.4	33,398	△ 15.2	61,552	△ 5.7	291,449	△ 1.0	54,948	△ 10.6	20,730	△ 24.9	686,024	△ 4.2
12月	180,086	△ 1.5	69,234	△ 4.2	43,955	△ 1.8	79,653	0.1	319,376	△ 3.0	65,719	2.6	25,158	△ 27.7	783,181	△ 3.0
平成29年　1月	174,243	△ 6.9	66,477	△ 2.1	36,121	△ 5.2	64,218	△ 5.2	347,696	1.6	67,515	△ 3.2	29,217	△ 23.6	785,487	△ 3.1
2月	109,076	△ 6.8	31,815	△ 3.3	31,815	2.2	49,919	△ 12.8	285,954	△ 7.3	54,644	△ 6.0	27,555	51.8	606,251	△ 5.1
3月	131,769	△ 16.6	58,653	△ 0.3	38,010	21.2	70,717	10.0	277,322	△ 7.1	63,381	△ 3.6	39,111	83.4	678,963	△ 2.8
4月	149,102	△ 1.8	54,593	△ 2.8	38,697	23.4	52,036	△ 10.0	277,667	△ 2.8	64,402	4.4	27,732	18.1	664,229	△ 0.5
5月	146,273	△ 3.2	55,299	0.7	42,185	26.8	53,705	△ 9.5	281,701	△ 4.5	60,787	△ 4.8	28,686	12.4	668,636	△ 2.1
6月	144,233	△ 3.2	56,507	△ 0.4	36,090	3.6	53,255	0.9	278,420	△ 5.4	55,452	△ 8.0	35,548	81.8	659,505	△ 1.2
7月	159,479	△ 2.4	64,760	△ 2.5	47,139	20.6	56,554	△ 11.0	275,730	△ 5.5	64,132	△ 1.5	42,357	87.9	710,151	△ 0.3

【注】1. 販売額の単位は万円。 2. 前年比の単位は%(△はマイナス)。 3. 平成26年12月以降、一部の調査対象店舗で売場構成の見直しがあり、部門別の前年比に大幅な差異があります。
4. 平成27年12月以降、調査先店舗数を変更しました。(17店舗⇒18店舗)